

地域まちづくり活性化事業

「つるさき七輪の街づくり」

大分市では、地域課題の解決や地域活性化に資する事業を、市民と行政が協働で取り組む「地域まちづくり活性化事業」を実施しています。

鶴崎地区では、この事業を「つるさき七輪の街づくり」と名づけ、推進委員会を核にして、各校区及び鶴崎地区全体でさまざまな事業を展開しています。事業実施の際は、自治会の回覧等でお知らせしていますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。

※「つるさき七輪の街づくり」

七輪のように暖かく、そして懐かしく、7校区が大野川を囲んで語り合える地域となるようにとの思いを込めて命名しています。

令和6年度 主な取組状況

★全体事業★



寒さが厳しい1月、乙津川コースで開催された「つるさき七輪ふれあいウォーク」、地域の皆さんが一堂に会し、交流を深めながら健康増進に努めました。参加者全員が無事に完走し、温かい笑顔が溢れる素晴らしいイベントとなりました。

★鶴崎校区★



鶴崎校区では、健康増進と交流を図るため「健康づくりラジオ体操」をほぼ毎日開催しました。

また、「カヌー教室」を4月から10月までの毎月第4日曜日に乙津川水辺の楽校で開催しました。参加者は漕ぎ方を教わりながら、カヌーからの景色を楽しんでいました。

★三佐校区★



三佐校区では、12月に「ふれあい餅つき大会」を開催しました。子どもたちは地域の先輩方から餅のつき方や丸め方を教えてもらい世代間交流を深めました。

また、貴重な動植物が生息する乙津川河口干潟(海原橋下)について、5月から11月の間、毎月1回清掃活動を行いました。

★明治校区★



明治校区では、「北部方面史跡めぐり歩こう会」が開催され、約80名が参加してキリシタン公園や葛木鉾神社などを巡り、地域の歴史を学びました。ゴール地点では自治会の協力により豚汁が振る舞われました。

また、今年度は自治会やPTAなどの協力により、約600名が参加した「通学路清掃」や「明治カルタ大会」も行われました。

★松岡校区★



松岡校区では、「R197号バイパス花いっぱい運動」として、毎年春と秋に沿線花壇に花を植えています。この活動は2019年のラグビーW杯開催時から始まり、2024年度には約60名の協力者で約3000鉢のマリーゴールド、日々草、パンジー、ビオラを植えました。また、小牧山古墳群周辺の草刈りなどを行いました。

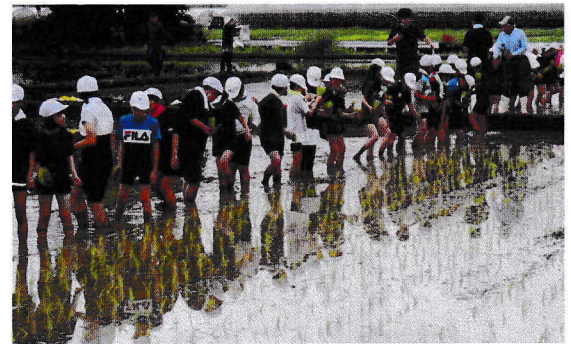
★別保校区★



別保校区では、2月に「餅つき大会」と「別保クリーンアップ大作戦」を開催しました。ごみ拾いの後、参加者はつきたての餅入りぜんざいを喜んで味わっていました。

また、「そうめん流し大会」や「ぴんぴんころり健康体操講座」も行い、地域住民の交流と健康づくりを促進しました。

★高田校区★



高田校区では、小学5年生を対象に田植え(6月)、稲刈り(10月)等の体験学習をおこなっており、地域の皆様から指導を受けるとともに交流を深めました。

また、小学生を対象とした「郷土料理教室」や「餅つき体験」を開催しました。

★川添校区★



川添校区では、2月の寒風吹きすさぶ中、約100名の参加者が集まり「川添健康フェスタウォーキング大会(歴史散策)」を開催し、全員が無事に完走しました。

また、ふれあい講話、健康講話、川添健康体操の三部構成となる「出前健康講座」を全自治会で開催し、和やかな雰囲気の中で地域住民の交流と健康づくりを図りました。